

こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトです！あっという間にもう8月も終わりですね。今年は本当に猛暑でしたが、皆さん夏バテはされていませんか？ここ一週間ほど急に涼しくなったおかげで、灼熱の弊社リサイクル工場もようやく作業がやりやすくなってきて、秋からの増産体制に向けて弾みがついています！

7月25日(金) 軟包装衛生協議会主催「技術セミナー」にて講演しました！

さて、前回の「ラミ通信」で告知いたしました、軟包装衛生協議会様主催の「軟衛協・技術セミナー」が、去る7月25日、東京は茅場町の油脂工業会館にて主催されました。

当プロジェクト代表の村井がセミナー講師を務めるのは、今年2月の大阪でのセミナー以来。当日は30度を越える猛暑でしたが、たくさんの皆様にご参加いただきました！広い会場に100名近くの満員のお客様を向かえて、最初はやや緊張気味の村井代表でしたが、話し始めるといつもどおり絶好調。最近の工場稼働の様子などを交えて、ご参加の皆様にもラミネーションフィルムのマテリアルリサイクルについてご説明いたしました！

終了後は、弊社リサイクル技術に興味をお持ちというお客様と情報交換をさせていただき、弊社リサイクルの更なる普及に向けての手ごたえを感じる1日となりました。



上：マイクを握る村井プロジェクト代表。
下：真剣に講演に耳を傾ける聴衆の皆様。
暑い中ご来場ありがとうございました！

2009年4月 *identi Plast 2009* in ブリュッセル にて講演決定！

またまた講演のお知らせです。少し先の話になりますが、来年2009年2月、にベルギーにて開催される Plastics Europe Association が主催する、プラスチックリサイクルの展示会 *identi Plast 2009* にて、当プロジェクト代表・村井がラミネーションフィルムのマテリアルリサイクルをテーマに講演を行うことが決定しました！

Plastics Europe Associationは、ベルギーはブリュッセルに本部を置くプラスチック製品製造メーカーの団体で、EU加盟の27カ国に加えて、ノルウェー、スイス、クロアチア、トルコをネットワークしています。活動内容は、プラスチックについての最新情報の提供、リサイクルに関する情報の提供、同業者間のネットワーキング等広範囲に及び、姉妹団体まで含めると、ヨーロッパの約5万社のコンバータ、約1000社の機械メーカーとのネットワークを持っています。

identi Plast は、このPlastics Europe Associationが主催する2年に一度のプラスチックリサイクルの国際会議で、次回で7回目を迎えます。プラスチックのリサイクルに関する幅広いテーマについての専門家を世界中から集めて講演が行われ、法律、ビジネス、環境負荷の低減を兼ね備えたプラスチックビジネスへのソリューションを追求するこの会議で、日本から推薦された数少ないプレゼンターのうちの1社として、当プロジェクトのリサイクル技術を全世界にアピールしてまいります！

人の生活と切っても切り離せないのが「食」の問題。そして、それに伴う食品包材材料の問題は全世界的に

暫定工場長・えりのハリキリ工場日報

私シガグチ、工場で肉体労働をしているうち、最近妙に男性化している気がします。作業をしているとどうしても手が汚れてしまうため、かつては美しくマニキュアしていた手は、今ではきっちり爪を切っしまいました。工場には女子更衣室がないため、朝の出勤時から帰りのスーパーでのお買い物まで、ファッションは丸一日作業服。肉体労働をするとお腹が空いてしまうので、食も太くなりました。先日とてもショックだったのが、お弁当屋さんが間違えて配達していった大盛り弁当を何の疑いもなく平らげ、おまけにデザートにシュークリームまで完食してしまったことです。このままでは、50kgの原反ロールを軽々担ぎ上げる日も近いかも。ああ、このまま嫁に行けなくなったらどうしよう。本気で心配です。 ラミ通信編集担当：志賀口えり



出張ももちろん作業着。作業スボンに会社のイメージカラーの黄色いポロシャツが眩しい！

発生しており、安全かつ効果的な対策が求められています。昨年11月の世界最大のプラスチック関連展示会「Kショー」への出展に続き、この *identi Plast 2009* への参加は、当リサイクルシステムの本格的な欧州進出の足がかりになっていくはずですよ！

それでは、来号も最新のリサイクルに関するニュースをお届けします。お楽しみに！

こんにちは！大変ご無沙汰しております、ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトです。早いもので、多忙のためしばらく発行が滞っているうち、なんと2009年に突入してしまいましたが、皆様いかがお過ごしですか？弊社では新年より新しいスタッフも加入し、皆工場を走り回ってキビキビと仕事をしています！

紙上・バーチャル工場見学！ FENラミリサイクル工場へようこそ！その

さて、2月の自社工場オープン以来、弊社・ファーイーストネットワーク ラミリサイクル第一工場には、たくさんのコンバーターのお客様にご訪問いただきました。でも、きっとまだまだ、「興味はあるけど、なかなか見学までは時間も機会もなくね」というお客様も多いはず！ということで、今号より3回に分けて、弊社ラミリサイクル第一工場でのリサイクル処理の様子を「バーチャル工場見学」としてご紹介いたします！

【ラミスクラップの輸送】

リサイクル処理の一番最初は、コンバーター様から排出されるラミスクラップの弊社工場への搬入です。弊社ではスクラップの輸送について、大手総合物流会社様にご協力をいただき、通常の輸送便の帰り便などを有効活用することで輸送費の削減を図っています。また、輸送の際にはきちんと幌をかけてお客様のスクラップが飛散しないよう対処をしたり、事故のないよう適切な積載量や安全運転を遵守するなど、コンバーター様に安心してスクラップを排出していただけるよう努めています。また、「マニフェストは出ないの？」というコンバーター様からの声にお応えし、独自の「リサイクル証明書」を発行しています。弊社では、ラミフィルムスクラップを有価物として買入れして処理しているため、処分費をもらって処理している産廃業者とは違い、法的効力のあるマニフェストを発行することはできません。しかし、それに代わるものとして、スクラップの排出日、弊社工場への入荷日、運送/荷受担当者サイン、リサイクル終了日などの情報を記録した、「リサイクル証明書」を作成し、排出元のお客様にきちんとリサイクル処理がなされたことを確認していただけるよう備えています。



ラミフィルム搬入のトラック。幌をかけ、飛散がないよう注意を払っています。



独自のリサイクル証明書。排出時からリサイクル処理終了までを追跡します。



入荷したラミスクラップは入荷番号を振られ、リサイクルまで完全屋内保管されます。

【ラミスクラップの入荷・保管】

弊社工場へラミスクラップが搬入され、トラックからの荷降ろしが終わると、次は計量です。弊社工場では、入荷したスクラップごとに、「コンバーター様の社名略称(アルファベット3文字) + 日付 + 入荷個数」で構成された入荷番号を割り当て、それぞれのスクラップがいつリサイクル処理がなされたのかを管理しています。また、計量を済ませたスクラップは、処理を待つまでの間保管されますが、弊社では、コンバーター様が万一のラミフィルムの飛散や流出等の発生についてご心配いただくことがないように、すべてのスクラップを工場内に完全屋内保管しています。(以下、次号に続く)

暫定工場長・えりのハリキリ工場日報

私シガグチ、暫定工場として6月に工場に赴任し、はや半年となりました。当初は工場の事務と生産管理を行う予定だったのですが、工場長として工場を統括する人材がなかなか見つからず、なぜか「暫定工場長」に就任、そのまま現在に至ります。最初は仕事の段取りも機械の操作もわからずオロオロする毎日でしたが、さすが半年たつてくると、徐々に仕事を覚え、頼りないながらも徐々に業務をコントロールすることができるようになってきました。重すぎる責任に押しつぶされそうになる事もありますが、何とかがんばっています。

そんな私の最近の楽しみはフォークリフト。車と似ていますが、ハンドルの切り方ひとつで車よりずっと微妙なコントロールが可能ところが面白い！それにしても3年前の入社当初はフォークまで運転するとは思いませんでした。本当に縁は異なるものですね。ラミ通信編集担当：志賀口



フォークに乗る暫定工場長・えりの雄姿。運転も結構うまいんですよ。(自画自賛)

自社工場立ち上げの準備期間より現在まで、何十社ものコンバーター様を訪問して参りましたが、弊社では、そんな中でお伺いした皆様のご希望、ご要望を自社のリサイクルシステムに反映できるよう努力しております。まだまだ改善点が沢山あると思いますので、お読みいただいたご感想など、弊社・ラミ通信担当までお寄せいただければ幸いです。よろしく願いいたします！

今月も最後までお読みいただきありがとうございました。ではまた来号で！

ラミフィルム・リサイクル通信

発行元：ラミネーションフィルム・リサイクルプロジェクト委員会

こんにちは！ラミフィルム・リサイクルプロジェクトです。毎日寒いですが、皆様いかがお過ごしですか？先日、弊社工場の近くに飼われている犬に子犬が生まれました。工場のある北関東の某都市では、寒さは半端ではないのですが、東京から赴任したスタッフは慣れない寒さに皆ガタガタ震えているのに、子犬たちは元気いっぱい走り回っているんですよ～。（*0*）弊社スタッフも、負けちゃわないよう頑張ります！

紙上・バーチャル工場見学！ FENラミリサイクル工場へようこそ！その



ハイパワーなギロチンカッターで、太いロールもバリバリ裁断。



ズラリ並んだ出荷待ち原料。色別管理しているので、在庫確認もしやすく、出荷時の積み違いもありません。

今号も前回に引き続き、「バーチャル工場見学」第二回をお届けします。

【原料スクラップの下処理】

保管中のスクラップ在庫は、プラスチック原料ユーザーより入った注文に基づいた生産計画に従って、再生加工のために下処理されます。

まず、ギロチンカッターという大きな裁断機で、スクラップを紙管ごとカットします。この時に、紙管や紙テープなどリサイクルできない部分を取り除きます。また、お客様からの入荷時には、さまざまな種類のラミネーションフィルムが混じった状態で入荷してきますので、カットを行う際に、PPが多いフィルム、PEが多いフィルムなど、種類別に分別を行います。カットされたスクラップは、種類別に鉄カゴに入れられ、再生加工されるまで倉庫内に保管されます。

ここで、弊社独自の工夫をひとつご紹介します！弊社では、各お客様（再生ペレットのユーザー様のこと）のご要望に応じ、さまざまな種類のスクラップを配合して、グレードの違う原料を製造しているのですが、最終生産物の種類に応じて、保管時より最終製品在庫まで同じ色を使いマーキングしています。在庫管理がしやすくなるよう、また、作業員が作業がやりやすくなるよう、弊社が行っている工夫のひとつです。

【再生ペレット加工】

つぎに、専用のリサイクルマシンを使い、下処理済みのスクラップを再生原料（ペレット）に加工します。まずは、原料ユーザーであるお客様のご希望に合った品質になるよう、配合を調整しながらスクラップを粉碎機に投入し、細かい断片に粉碎します。粉碎されたスクラップは、ブローアでストックタンクに移送され、リサイクルマシンに自動投入、ペレット加工されます。

弊社のリサイクルマシンですが、ラミネーションフィルムの特性に合わせて設計された特別仕様の押出機です。昨年までプロトタイプ機のみが稼動していましたが、つい先日、プロトタイプ機の不具合を改善した新デザインのマシンの設置が完了したばかり！ただいま試運転を行っている真っ最中で、



元機械メーカーにお勤めだった従業員さん。機械の修理、改良などはお手の物！いつもお世話になってますm(_ _)m

2月からは増産体制に突入する予定です。

さよなら
工場長

えりのハリキリ工場日報

ラミ通信編集担当：志賀口

【出荷】

加工が終了し、でき上がった再生原料は、500kgごとにフレコンバッグに梱包されます。種類ごとにペンキで色別にマーキングされ、出荷の日まで保管されます。

さて、「バーチャル工場見学」の最終回の来号では、弊社工場で働く皆さん、そして徐々に村井社長に登場いただき、今も変わらぬリサイクルにかける思いを語っていただきます！

それでは、来号もラミ通信をお楽しみに！



巨大スーパーは、飲食店も充実。すごく美味しいたい焼き屋さんがあり、いつも大行列なんですよ～！

弊社工場は、北関東の某都市にあります。はっきりいって田舎です。通勤中の道のりも、回りはひたすら山、川、田んぼ。空気の美味しさは素晴らしいですが、正直若い女子にとってはやや退屈な環境です。ところが昨年、近くに大型スーパーがオープンして状況は一変しました。いやー、最近の大型スーパーって本当にすごいんですよ。端から端まで移動するのに、5分はかかるんじゃないかと思うほど大きいんです！東京と変わらないお店やブランドがズラッと軒を並べている風景は、はっきり言って新宿あたりの百貨店なんて消し飛んでしまうほど壮観！会社帰りに毎日寄りたいくらいです。おかげで田舎生活もぐっと楽しくなりました。（^^）さて、私ですが、今月をもってラミ通信の担当からは外れることになりました。来号からは弊社営業のホープ・井口に担当を引き継ぎ、引き続き発行を続けていきますので、今後もラミ通信をよろしくお願ひ致します！